

会 議 録

- 1 会議の名称 富士川町介護保険運営協議会
富士川町地域包括支援センター運営協議会
(合同会議)
- 2 会議日時 平成30年2月16日(火) 午後7時30分から午後8時30分
- 3 開催場所 保健福祉支援センター 1階保健指導室
- 4 出席者 委員13名(欠席者2名) 事務局関係者8名 傍聴者0名
- 5 議題 パブリックコメントについて
第7期介護保険事業計画(案)について
介護保険料(案)について
地域包括支援センター「愛称募集」結果について
- 6 運営協議会内容
 - ① 開会
 - ② 会長あいさつ
 - ③ 議事
 - (1) パブリックコメントについて
 - (2) 第7期介護保険事業計画(案)について
 - (3) 介護保険料(案)について
 - (4) 地域包括支援センター「愛称募集」結果について
 - (5) その他
 - ④ その他
 - ⑤ 閉会
- 7 発言の内容

会長あいさつ

議事
 - (1) パブリックコメントについて
事務局より説明

< (1) についての質疑応答 >

委員：過去に行ったパブリックコメントでは何件くらいか。

事務局：前回の第6期計画の際には1件だった。

委員：せっかくだからもっと周知をして意見をもらいたい。

事務局：次回に向けて周知方法を検討する。

委員：ホームページにある計画の閲覧数はわかるか。

事務局：こちらの担当ではわからない。ホームページの担当であればわかるかもしれない。

委員：計画をみてくれたかということも大切だと思う。

(2) 第7期介護保険事業計画(案)について
事務局より説明

< (2) についての質疑応答 >

委員：峡南の介護保険の関連ということで報告させてもらう。

2月10日の午後に峡南在宅医療センターの協力を得て、南巨摩郡医師会が主催で講演会を実施した。富士川町のいろんな団体の協力もあり159名が参加してくれた。家で最期まで介護する、それを支える訪問医療についてなどの内容だった。実際の想いを聴くことができ、とてもいい会議だった。

委員：高齢化が進んでいて給付費の増大をくい止めるのは大変なことだと思う。共生社会として、障害のある方や慢性疾患のある方が住みやすいところで生活するためには、町民のニーズを聴きながら地域の特性に合わせたサービスを提供すること、介護サービスだけではなく地域力を高めることが大切。そうすれば介護保険料も抑えられるのではないか。ケアプランの見直しもあると聞いている。地域レベルで声を聴けるような機会をとという方向に進んでいるため、富士川町の形に構築できたらと期待している。

委員：立派な家があったが住んでいないからつぶした。とお年寄りが残念そうに話しているのを聞いた。介護の事業所が減っているということも聞いているがそれは効率が悪いということもあるのではないか。東京などでは自転車ですぐまわっているが、こちらでは家が遠く、1日にまわられる件数が少なくなる。最後まで自分の家でというのも大事だと思うが、山の中に1件だけというのは本当にいいことなのかなとも思う。

同じ町内に空き家があるのであればそこに移住してもらおうということを考えてもいいのではないか。どのくらい空き家があり、利用できるような状態かなどを考慮して計画を立てたらどうか。

事務局：先日障害者のための事業所の会議があった。東京からきたスタッフの方が、送迎サービスがあることに驚いていた。東京では近くの方が自分の力で来るため、送迎サービスはない。効率が悪いと言っていた。介護も同じではないかと考えていた。空き家の話も出たが、そういったところも検討しなければ良いサービスの提供ができないと思う。

(3) 介護保険料(案)について
事務局より説明

<(3) についての質疑応答>
特になし

(4) 地域包括支援センター「愛称募集」結果について
事務局より説明

<(4) についての質疑応答>

委員：地域包括支援センターの名前を33%の人しか知らないのは問題だと思う。名前を知っていても役割を知っているのかはわからない。愛称をつけたからといって役割まで知ってもらうことができるのかというところではないと思う。まずは知ってもらうための周知をしなければいけないのではないか。隣の町では年2回ほど「たより」を作っている。愛称をつけるのはやることをやってからではないか。

事務局：ありがたい意見。周知不足を痛感している。普段の活動の中でもPRしていく。知られていないことが結果として出ているのでしっかりと周知していく。

事務局：そのままという意見の他に9つの愛称が挙げられている。9つの中からアレンジをするなどしてPRの際に使いたいと考えている。

委員：地域包括支援センターがどこにあるかときかれて何と答えているか。私は、「まほらの湯の～」と言っているが、「まほら」というのはインパクトがあり、そういった愛称が良いのではないかと思う。

委員：9つの愛称と2つのそのままがいいという意見が挙がっていて、これらを参考に決めていけばいいと思うが、この協議会で決定するのか。

事務局：期限は定められていないが、この協議会で決定することになっている。

委員：今回決定するのは難しいと思う。期限がないということであれば今後検討していくということでしょうか。

委員：保健福祉支援センターの2階にあったものに「まほら」とつけていたと思う。今年度でそこがなくなるがどうか。

事務局：「まほらの家」という名前だった。

事務局：事務局で検討して次回いくつかに絞って挙げさせていただきたい。

委員：この場でよろしければ1つ候補を追加してもらいたい。インターネットで検索すると、ひらがな四文字で「ほうかつ」というのを愛称としていところがある。締切が過ぎているが可能であれば追加してもらいたい。

委員：「地域包括支援センター〇〇〇」のような形か、「ほうかつ」のように包括の意味がわかるような名前が良いのではないか。

委員：老人ホームでは、「特別養護老人ホーム〇〇〇」という形で、大体どのような施設なのか名前で見えるようになっている。今話があったような「地域包括支援センター〇〇〇」というのが良いのではないか。

事務局：第一に地域包括支援センターを周知していく。それからみなさんからいただいた意見をもとに愛称を検討していく。

(5) その他

< (5) についての質疑応答 >

特になし

以上